

来賓として、金属労協（JCM）野中副議長と連合兵庫 辻会長にお越しいただき、連帯の挨拶をいただいた。



金属労協(JCM) 野中 副議長



連合兵庫 辻 会長

## 国政報告

自動車総連組織内議員のふるもと伸一郎衆議院議員、いそざき哲史参議院議員、はまぐち誠参議院議員より国政報告をいただいた。



ふるもと伸一郎 衆議院議員



いそざき哲史 参議院議員



はまぐち誠 参議院議員

# 推進し 正の前進を果たす

善、③付加価値の「WIN-WIN最適循環運動」、この3つが連動した活動を一体となって進めていく必要がある。我々が目指している生産性運動は、人間尊重を基本とし、経済・企業の発展のため、生産性向上に関する経営と労働の協力が必要であり、そのことが労働者の経済的・社会的地位の向上をもたらす、という考え方に基づくものである。労使の協力に基づくこれまでの取り組みは、各企業の近代化と競争力の向上に結実してきた。さらには、民間企業を中心とするこの運動の広がりや定着が、日本の経済発展と国民生活の向上に寄与してきたことは間違いのない事実である。今後も我々は自信と誇りを持って、生産性運動を展開していかなければならない。

### 3) 人への投資

今次闘争においても経営側は、国内外での競争の激化や、新技術・新分野への投資や研究開発を重視し、コスト・労務費の削減、「人への投資」を抑制してくることが予想される。それでは個人消費の活性化にはつながらず、経済や企業の成長を阻害することになり、同時に、働く者の活力や意欲そして希望が失われ、企業の競争力の最大の源泉を削ぐことにつながる。経営として最優先で考えるべきことは「人への投資」であり、このことは間違いなく将来への活きた投資に繋がると確信する。

### 4) 付加価値の適正循環

なお、各労連の具体的な要求水準については、自動車総連の方針を踏まえ、それぞれの労連ごとのグループや企業の実態、さらに、自らの賃金水準・賃金実態の位置づけを踏まえた格差是正や賃金体系の整備などに係わる問題意識に基づき、主体的・自主的に検討し設定していただきたい。特に、中堅・中小の賃金の底上げと格差是正を図る取り組みについては、引き続き、連合や金属労協の中小共闘とも連携し強化していく。3年目の取り組みとなる、バリューチェーンにおける付加価値の適正循環の構築では、バリューチェーン全体での付加価値の増大を図り、大手と中小の格差是正をさらに進める必要があり、構成する企業の労使交渉の環境整備や、個々の組合の交渉力強化の支援が重要となる。大手企業の組合は、関連企業や取引先企業の組合への支援を徹底していただき、引き続き実効性のある取り組みの推進をお願いする。